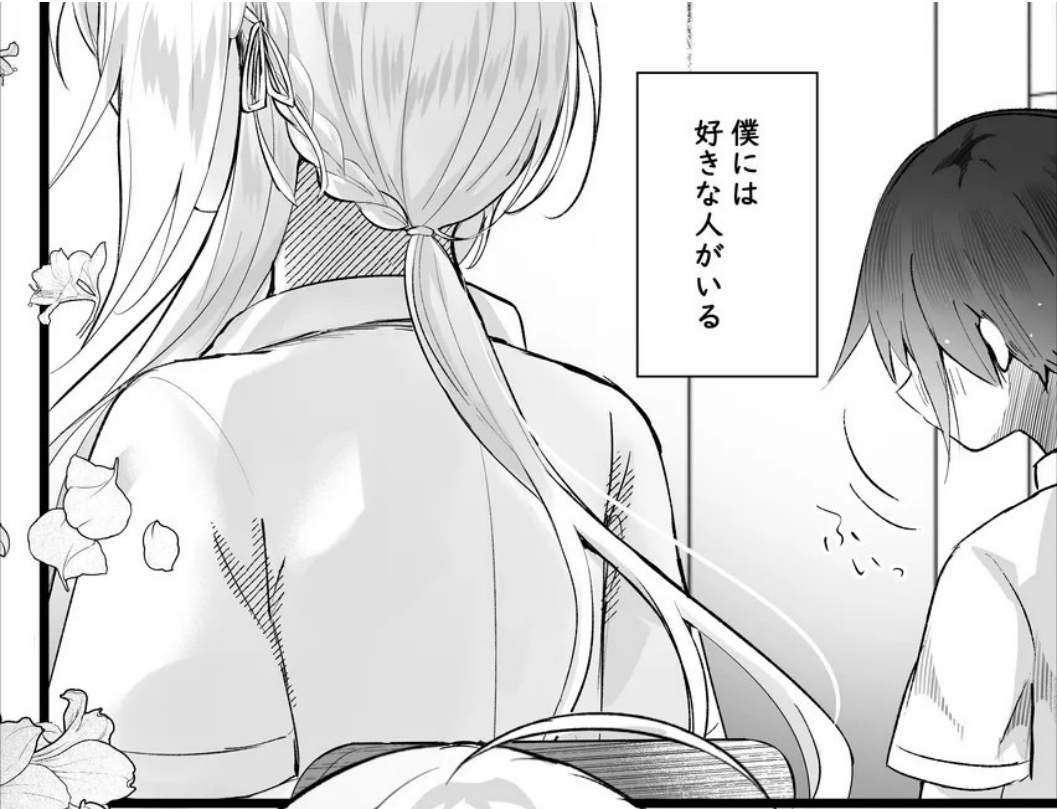




この夏、
僕らは

キミを
奪
び
つ





僕には
好きな人がいる



同じクラスの
舞浜ロアさん

美しくて

頭が良くて

僕には
手が届かない

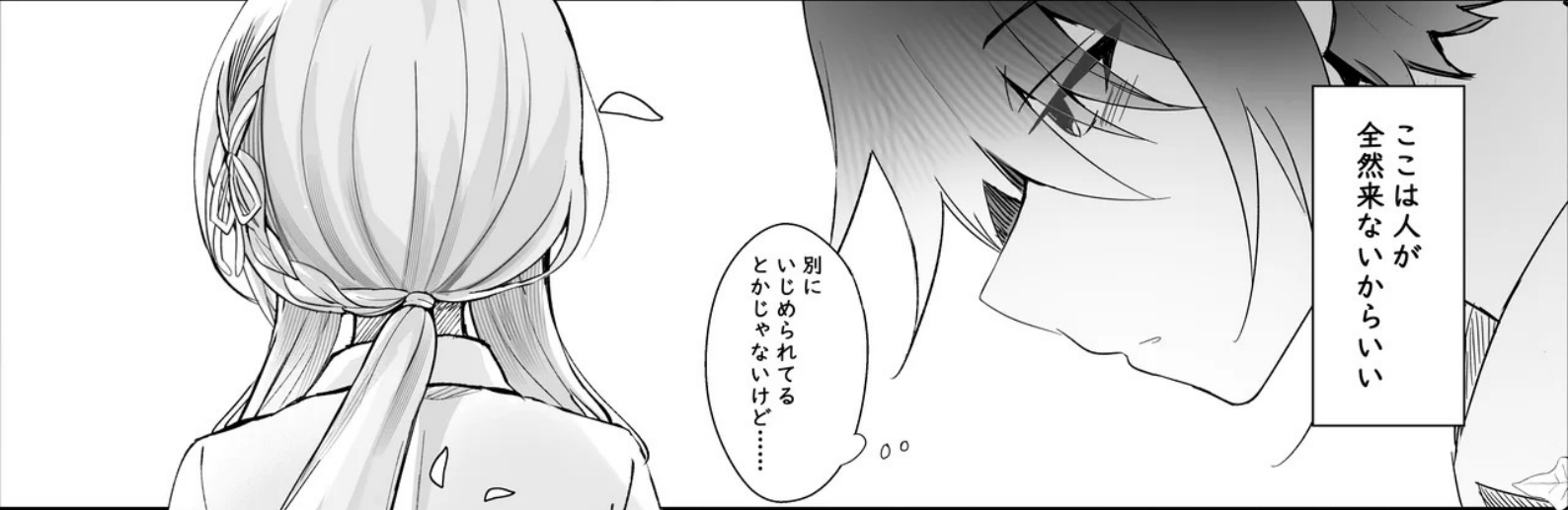
高嶺の花



逃げるように
第二図書室へ

中庭で一人
今朝買った
パンを掻き込んで

昼休みは救いだ



ここは人が
全然来ないからいい

別に
いじめられてる
とかじゃないけど……



まともに話したこと
無いくせに

一目惚れとか……

は……

舞浜さん
いつも誰と一緒に
昼ご飯食べてるんだろ

特定の誰かと
仲良い印象
無いんだよな

まあ
可愛がられてる
印象はあるけど…

僕と違って

移動教室、
一緒にいる！

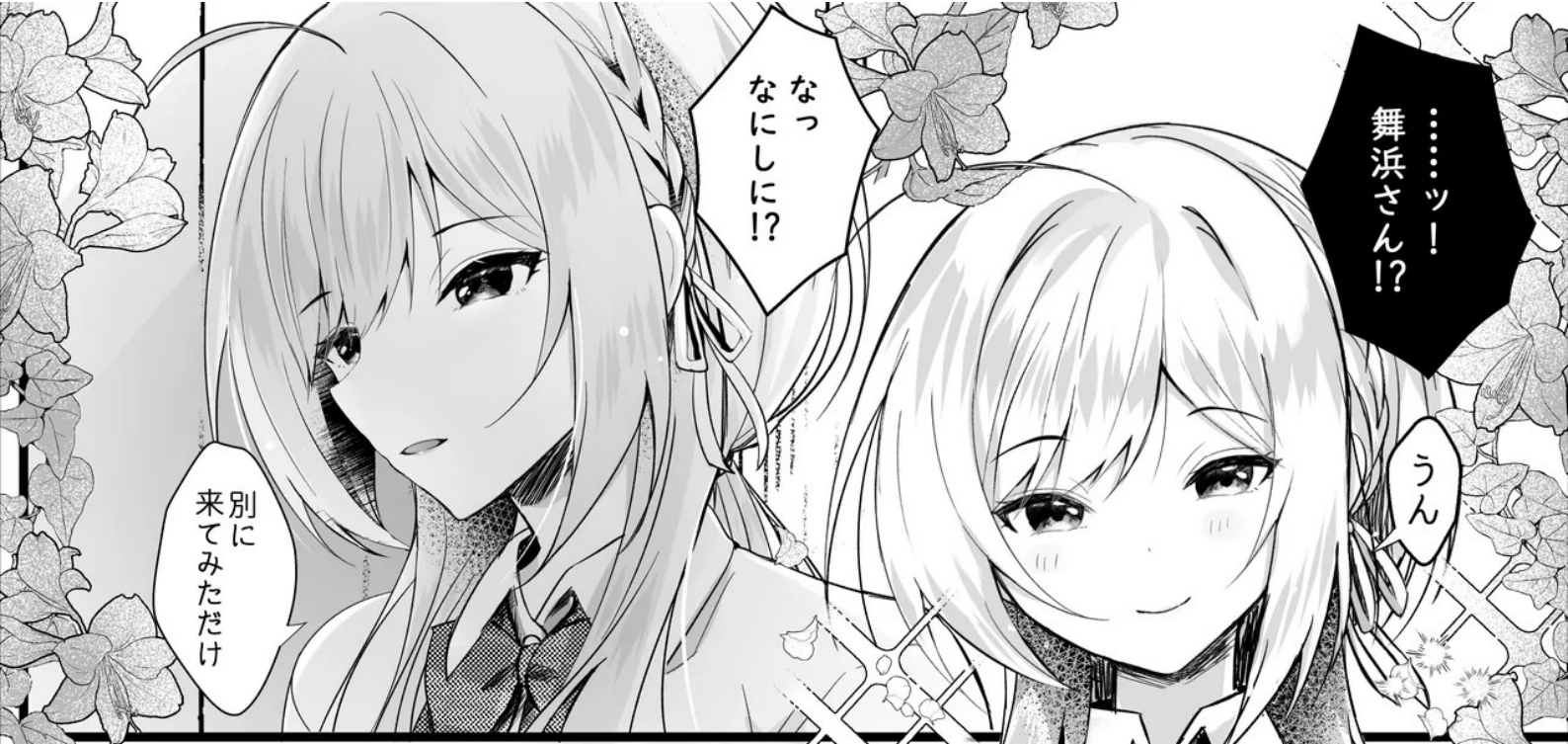
ローマ

あー…
ずっと考えてしまう

まだまだ
ガキだな

誰が
ガキなの？

!?

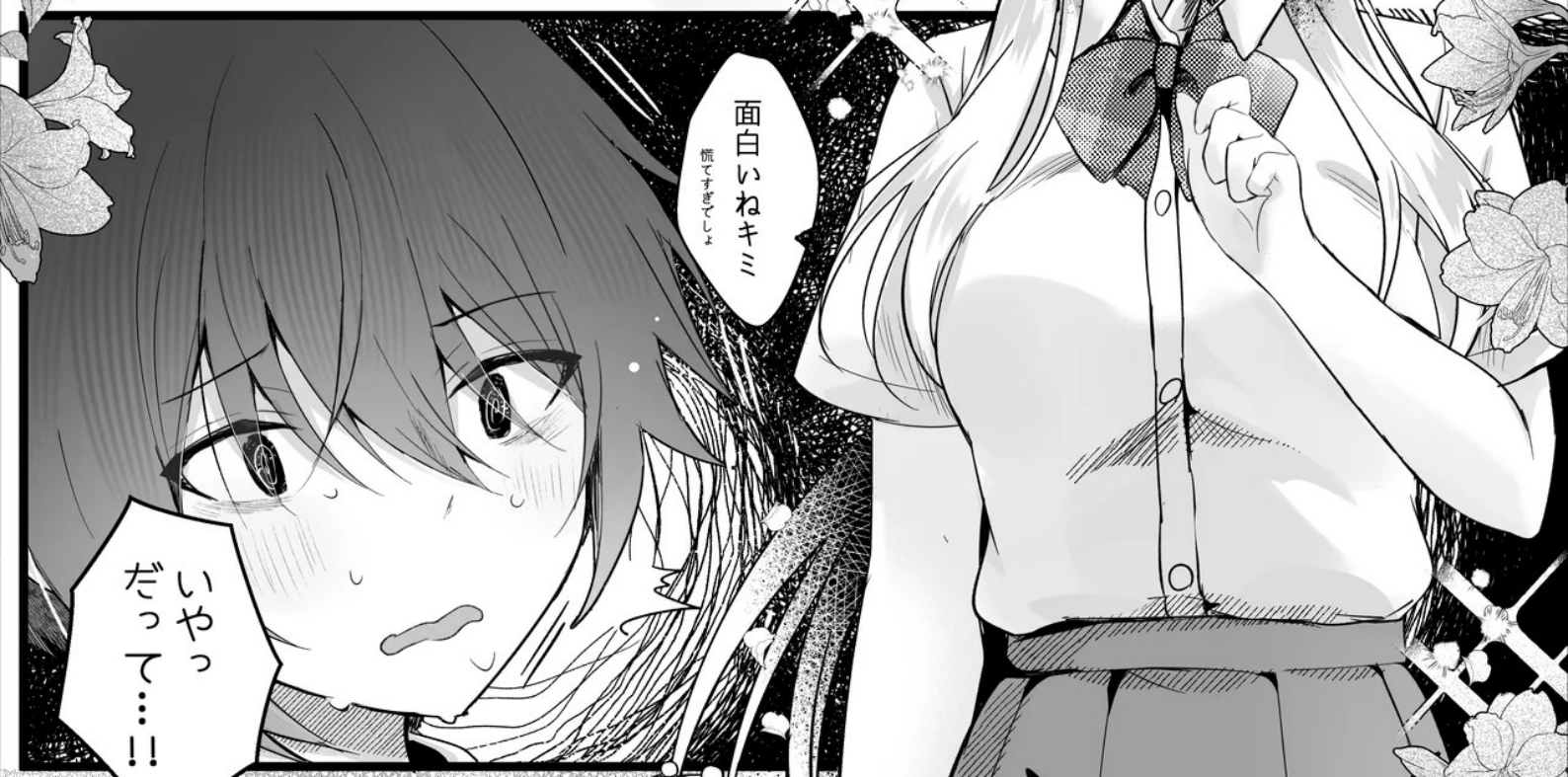


……ッ！
舞浜さん!?

なっ
なにしに!?

うん

別に
来てみただけ



面白いねキミ
怖くてもいいよ

いやっ
だって…!!



だってさ…ッ
今日もこうして
あれこれ想ってた瞬間。

ねえ
キミさ

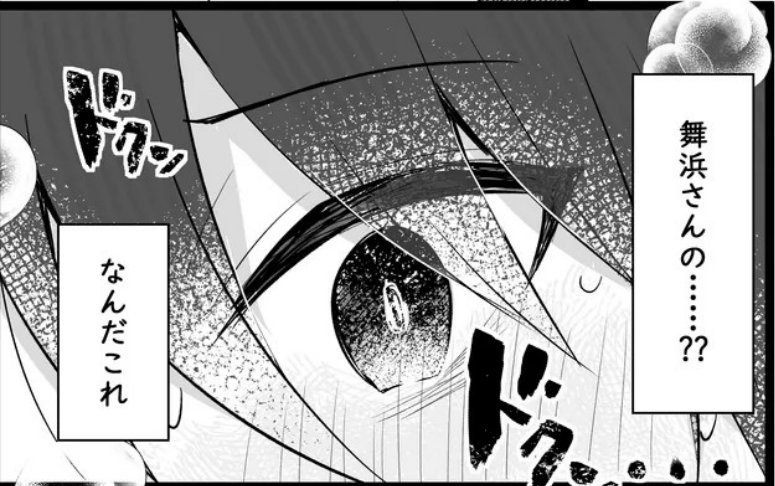
本人登場とか



私とセックスしない?

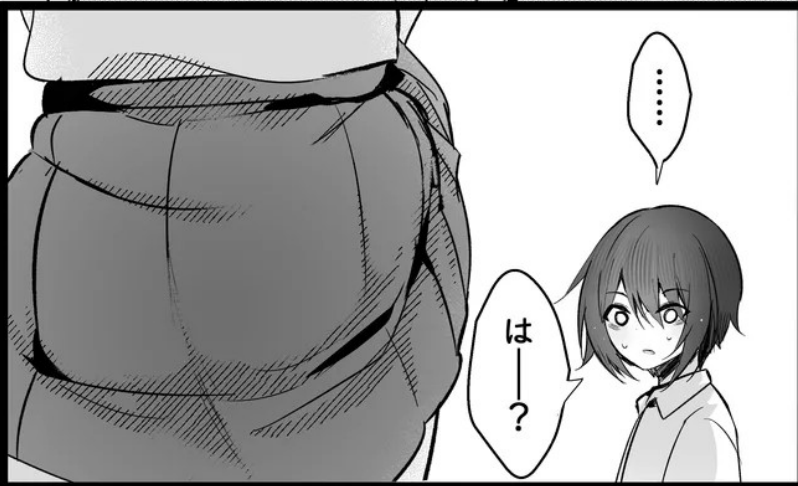
夢か——?

ぴんぽん



なんだこれ

舞浜さんの……??



は——?



とろー♡

綺麗でピンクでつるつるで……

本当に夢……?

もつと声
聞かせてよ

恥ずかしがらなくて
いいからさ
誰も来ないし
多分

嘘だろ

舞浜さん

ん、

はあ
あ、

はあ
あ、

ふ、

う、

あ、

汚れなんて
一切知らない
みたいな顔して

こんなの…っ

ろっかな？
じゃーず？

は、

は、

は、

は、

は、

は、

おちんぼ熱いね
先っぽとろとろになってる

あーっ

気持ちいいんだ？

ちゅるるる

ちゅるるる

ちゅるるる

はーっ

あーっ

ちゅるるる

綺麗な舌で
小さな口で

変態女……!!

んん……ッ!

僕のちんぽ
しゃぶってる……!



……もう
出すなら言っつてよ

汚れちゃったじゃん

は！

は！

あつ
ごめ……

どろおへっ

じゃなくてっ！

なんだよこれ……

あれ……
嫌だった？

僕たち
何してんだよ

どろ……

キミなら喜んで
手伝ってくれると
思ったんだけど

私の花嫁修業

私ね
婚約者がいるんだ

…って言っても
数回しか
会ったことない
10歳ちよい上の
おにーさんだけど

花嫁？
婚約者？

もう両家の間で
ずっと前から決まってるね

令和の時代にすこいよね

舞浜さん
なんの話を
してるんだ？

でもウチより
ずっとお金持ちの
財閥のおにーさんが
結婚してくれるのに

私みたいな
セックスの経験も無い子供じゃ
がっかりさせちゃうかも
しれないからさ

せめて
経験積まなきゃって

ああ…そうか

キミなら
手伝ってくれるって
思ったんだけど

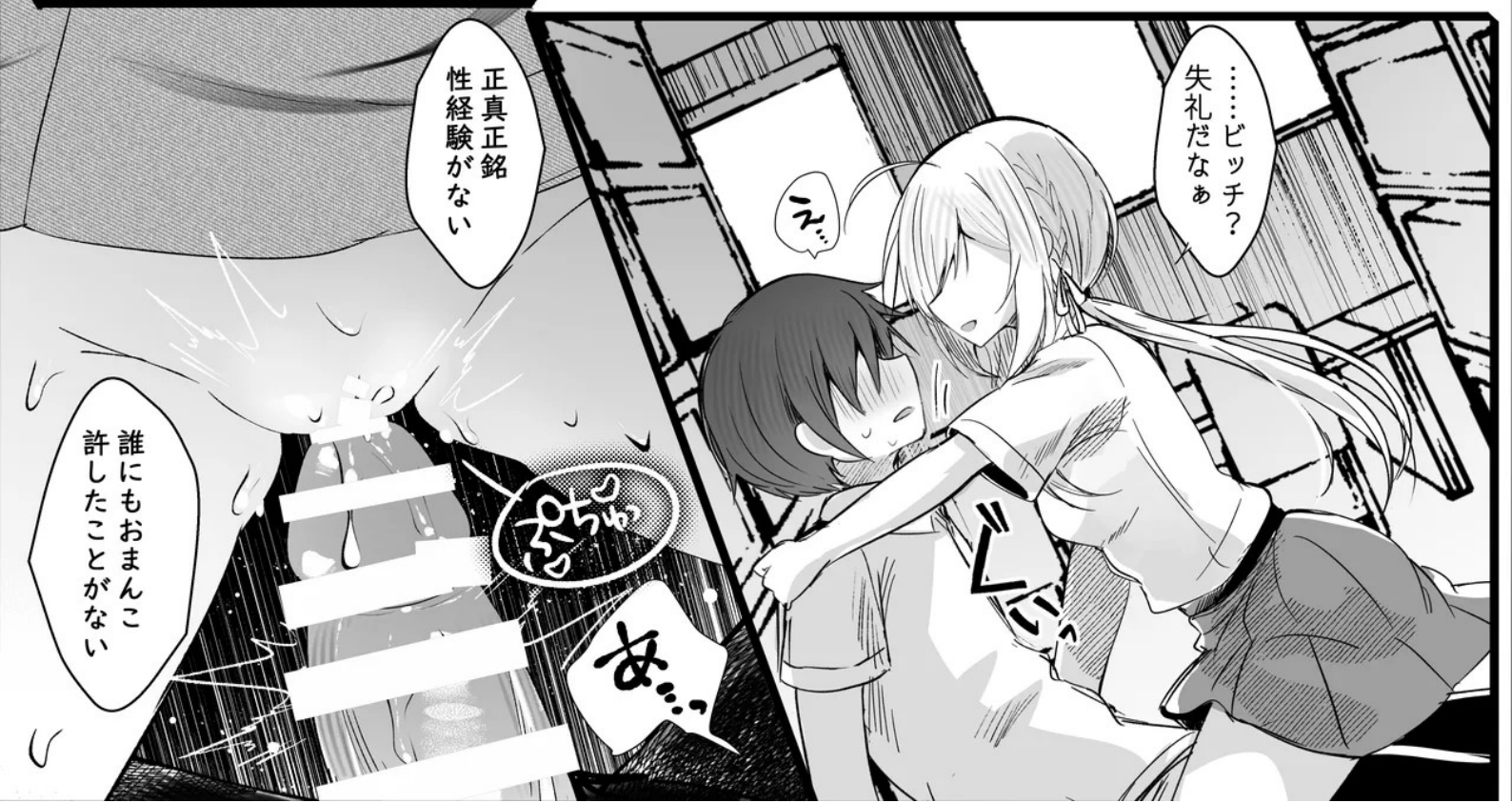
やっとわかった



嫌だった？

舞浜さんって
狂ってるんだ——

舞浜さんは
狂ったビッチ
だったんだ



……ビッチ？
失礼だなあ

ん…

正真正銘
性経験がない

おちんちん

あ…

誰にもおまんこ
許したことがない

清廉潔白な
処女だよ

あっ♡

ああ…っ

おちんぽ
きてる…ッ

まじか
これ…

これでもう
処女じゃ
なくなっちゃったね

はっ♡
はっ♡
はっ♡

舞浜さんのまんこの中に
僕のちんぽが挿入ってる

みちゅ

はあ……
思ったより
痛くないや
大丈夫そう

やばい

きつくて
あつくて
気持ちいい…ッ!

あっ♡

あっ♡

あっ♡

ビクビク…



ふふっ
キミは
かわいいね

信じられない

あッ
そんなに激しく
動いたら...ッ!



舞浜さんが
好きな女の子が
僕の上で腰振って

おちんぽ
びくびくだね

僕たちセックスしてる

もう爆発
しちゃいそうなの?



舞浜さんっ
なんで…僕なの？

ぽちゃっ

ぽんっ

ぽんっ

ぽちゃっ

……んー？

だってキミは
私のこといつも見てくるし
好きなんでしょ



舞浜さんのこと
好きな奴なんて…
他にも
たくさん…ッ！

ぽちゃっ
ぽちゃっ
ぽちゃっ
ぽちゃっ
ぽちゃっ

そうかな？

でもキミはいつも
一人ていて

なんか私と
似てるなって
思ったんだよね

すちゅっ
すちゅっ

すちゅっ

ふっ

ん

あまっ

あまっ

あまっ



……僕を
好きとかじゃ
ないの？

ははっ

そうだね
ごめん



舞浜さん

ん

ふ…

婚約者が居て
花嫁修業とか言って
襲ってきて

お嬢さん

あ



ん

でも
キミのおちんぼは
結構悪くないかも…っ

……なんなんだ

あ



意味わかんなくて
頭ぐちゃぐちゃになる…っ

ふ…



お嬢さん

お嬢さん



ああ…ッ

でも僕は
すごく幸せだ…ッ!!



セックスって
初めてしたけど
こんな感じなんだね



やばい……
気持ちよすぎた……

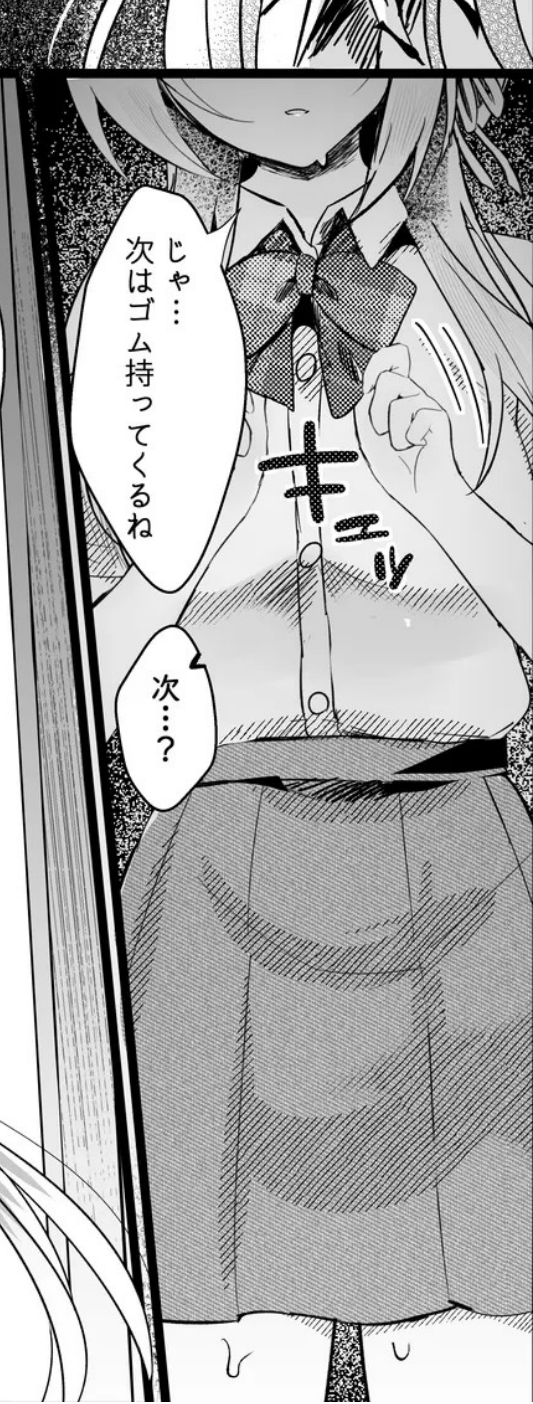
はっ…
はっ…
はっ…



外に出して
くれたんだ
ありがとう

ふふっ
立派なお射精

はっ…
はっ…
はっ…



やっぱり
狂ってるよ
舞浜さん

それから僕たちは
昼休み毎日

おー舞浜ちゃん
放課後一緒に
カラオケ行こうよ!

ごめん
放課後は
ずっと用事ある

今日もお迎え?
朝も車で登校だよねー
流石お嬢様

初夏の香りを纏った
この第二図書室に
引き寄せられるように

舞浜さん
激し……ッ

おえ知ってる？
舞浜さんって

学校辞めるかも
なんでしょ

えー？

あー城咲家に
嫁ぐんだっけ
すごいよねー

熱のこもった身体と
二人だけの秘密を重ねて

何度も何度も
セックスした

長女だから
とかいつの時代だよ

でも

そんな年上の
おっさん好きなんか

キスだけは
させてくれなかった



僕は補習…

あはっ



明日から
夏休みだね



テストばろばろ
だったんだ

セックスばつかして
勉強に集中できな
かったんじゃない？

誰のせいだと…！



おちんぼ
もう大きいね

今日も私の中でいっぱい
気持ち良くなりたいんだ

まあ僕は
舞浜さんとの
昼休みが最高だから

成績なんて
どうでもいいけど

あ、
はっしゅ

ん





すべすべの指が
おちんぼしごいてるの
興奮するんだ

あ、

すけ
すけ

それ以外
なにもいらぬ

あ、



大好きな舞浜さんとの
この昼休みの
秘密があれば

正直で
かっこいいね

狂った関係でも
僕は



ああ……
手気持ちいい



夏休みに入るともう
昼休みとか
なくなるわけだし

僕の補習が終わった後……
っていても



だから
このままずっと……

……ねえ
明日からどうするの？

ん？



舞浜さんはいつも
家の用事とかあるんでしょ

明日からどこで…

セックスは
今日でおしまいだよ

私はこの夏休みから
城咲家で暮らすことになる

学校には
もう来ない

……え？

だからもう今日で
全部おしまい





こんなの

そんなの
なんで急にっ

ずるいよ
舞浜さん

あはっ
あはっ

んんっ♪

あはっ
あはっ
あはっ



今日もおちんぼ
立派だね♡

大事な話を
してるのに

まんこ気持ちよくて
わけわかんなくなる

この1ヵ月
毎日ハメて
もらってたから

私のおまんこ
キミのおちんぼの形に
広がってるんだよ

あ、

あはっ

あはっ

あはっ



あ、そんなに...ッ
激しく動かないで

ん？
もうおちんぽ
耐えられない？

ねえ
気付いてる？
私たち今
生でしちゃってる

童貞卒業した日
以来だね

おっ
はっ

おっ
はっ
おっ
はっ



私の花嫁修業を
ずっと手伝ってくれた
お礼だよ

処女も
生おまんこも
キミにあげる

あ、

はっ

ん...

は、

は、

ん、

はっ

はっ

はっ



舞浜さんが好きだ

暑い夏の図書室で

たくさん中で感じて

おっぱい揺らして腰動かして

おちんぽにおまんこの感覚擦り付けて一生忘れないようにしてあげるから…ッ

あ…

は…

あ…

きついまんこで締め付けてきて

あ…

ほらキミももつと突き上げて♪

婚約者がいるくせに

僕と動物みたいなセックスばかりして

は…

は…

狂ってる舞浜さん

僕は…っ



キミとセックスできる毎日が

しあわせで最高で

……うん
ありがとう

あ、でも身体を重ねれば重ねるほど
キミのことが分からなくて

はぁ
ん

はぁ
ん

はぁ
ん



私はね間違っ
てみたかっ
たんだ

敷かれた
レールの上
からほんの
ちよつと外
れて



僕はもつ
とキミと恋
したかっ
た

恋愛がし
たかっ
た

うん
ごめんね
その恋を
叶えられ
なくて



花嫁修業なんて
言ってるさ

こうして
お遊びみたいな
セックスしか
できなくて

結局
わがままでしか
ないんだよ

自分の思い出作りに
キミを利用した

最低な女

ふっ

ん

ぽちゅん

ぽちゅん

ぽちゅん

ぽちゅん



許されない
ことだと思う
だけど

今は頭空っぽにして
おまんこの中で
生おちんぼ
気持ちよくなること
だけ考えて……っ

すちゅん

すちゅん

すちゅん

すちゅん

あ

ん



舞浜さんは
最初から

この生活が
終わるって
分かってて



うう…っ！



でも
この先二度と
手に入らない

”非日常”を
経験してみたくて

だから
僕を襲ったんだ

彼女の青春の
思い出作りに
僕を利用したんだ

こんな狂った
関係でも

僕は――

今日は
いつもよりずっと

ズッ
ズッ

かっこいい
おちんぼだね

♡

♡
♡

♡
♡

そろそろ射精しそう？
イッチャウの？

嫌だ

♡
♡

♡
♡

終わらせたく
ない……っ！

カリカ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

ドキ
ドキ

おい

この身体は
僕の感覚しか
知らないのに

いつか
他の男のものに
なるって考えると

すごいっ

んっ♡

んっ♡

今までで
一番かっこいい
ピストン…♡

たまらなく
悔しい

絶対に
離れたくない

はっちゃんっ

はっちゃんっ

はっちゃんっ

僕のものに
なって

はっ

はっ

んっ

ダメ

キスだけは
ダメだよ

うっ



最初から
モブの僕には
手の届かない
存在だったけれど

キミの好きな
女の子の
生おまんこに

濃厚お精子いっぱい
どぴゅどぴゅして…♡



あぁっ... シ...
あぁっ♪

誰にも
奪われたくない...っ!



私もちよっと
イっちゃった...♡

すごいね...
かつこい
お射精

僕には
好きな人がいる

……ん

美しくって
頭が良くて

僕には手が届かない

それじゃ

……

高嶺の花

だけど……

舞浜さん……ッ!!

……っ

ちよっとう!

僕は
なんでもない

ただのモブだ

それでも

好きだ

舞浜ロアさんが
好きだ

……ッ
ダメって

いったじゃん

馬場くん……

無力な僕には
彼女を救う力なんてない

きっと僕たちは
運命から逃れられない

それでも

二人で一緒に
逃げ出そう

僕はもう
どうしようも
ないくらい

舞浜ロアさんが
好きなんだ

END



あとがき

お手に取って下さりありがとうございます。
華やかな夢のような人生が決まっている
お嬢様の舞浜ロアと、なんでもないモブの馬場くん。
もし二人が結ばれれば、ロアは
お城に咲く華のような存在になれないけれど
「ババロア」みたいに甘いお菓子みたいな
日常を送るのかもしれない。
そんな設定から今作は生まれました。

でも馬場くんはモブなので王子様にはなれません。
今作はたったひと夏の、それでも二人にとって一生忘れられない
青春の白昼夢みたいなものを描けたらと思って描きました。

少しでも楽しんでいただけたら嬉しいです。
ここまで読んで下さりありがとうございます。

2024年8月 真夏

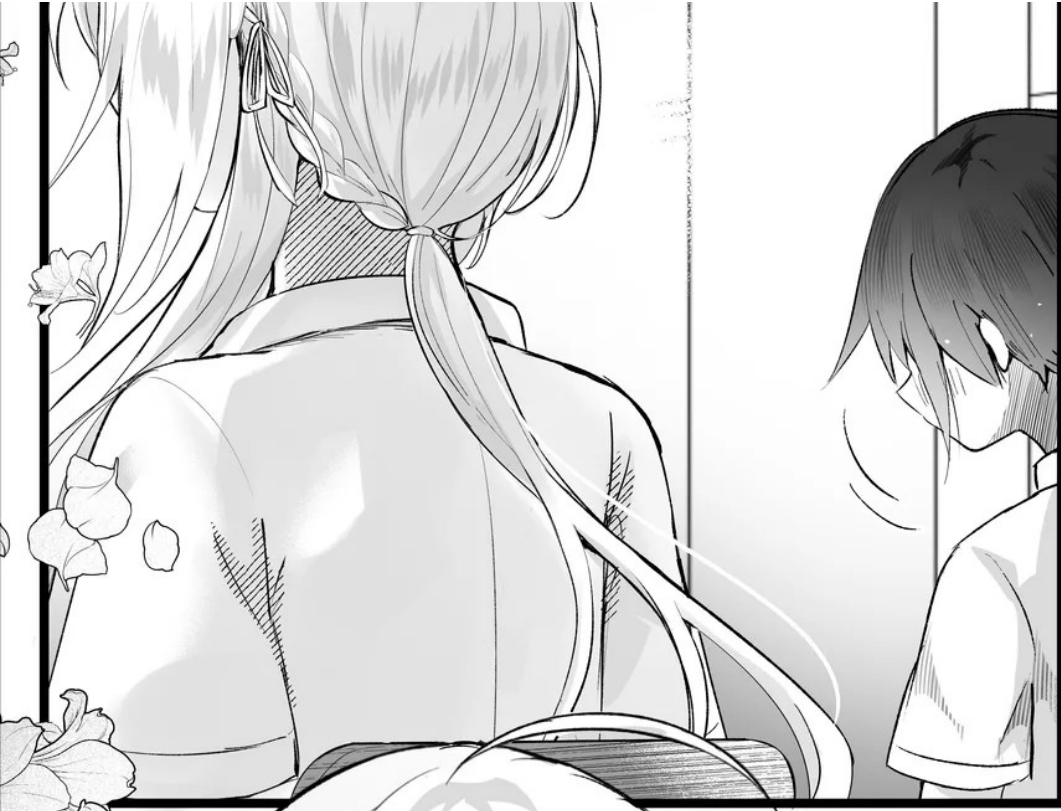
※18歳未満の方・
高校生の方の閲覧・購入を禁止します。
本作品「この夏、モブはキミを奪う」を
許可なくインターネット上に
アップロードする行為は犯罪です。
著作権侵害による被害拡大を防ぐため、
発見次第相応の処置を取らせていただきます。

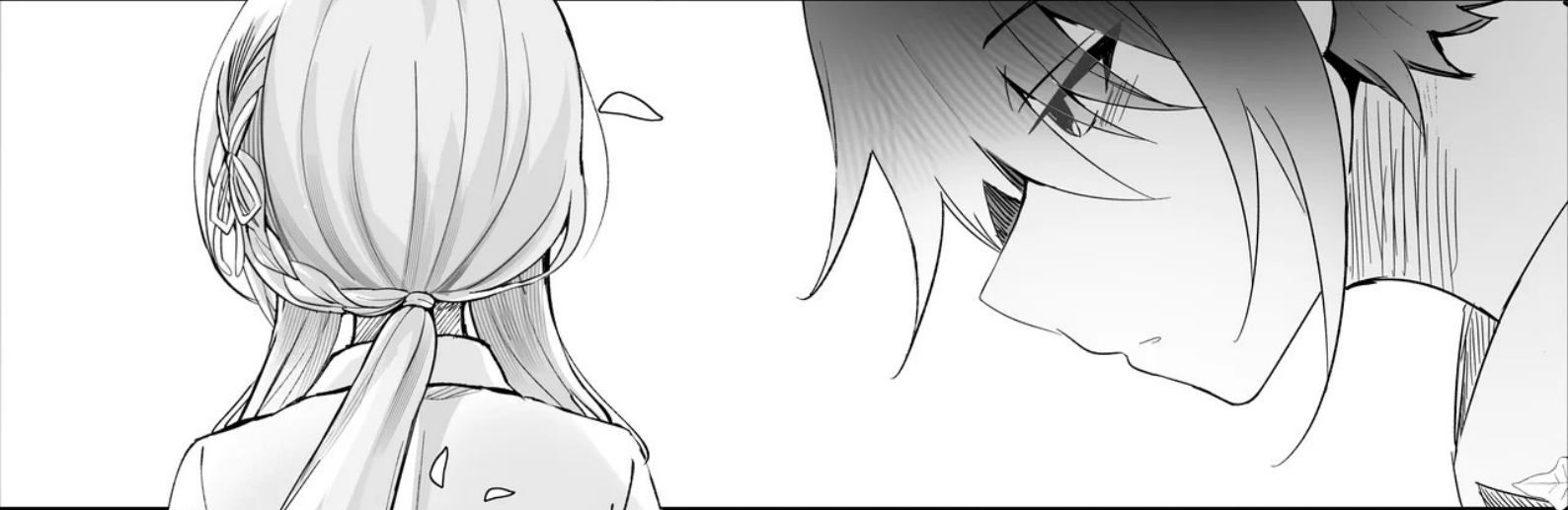
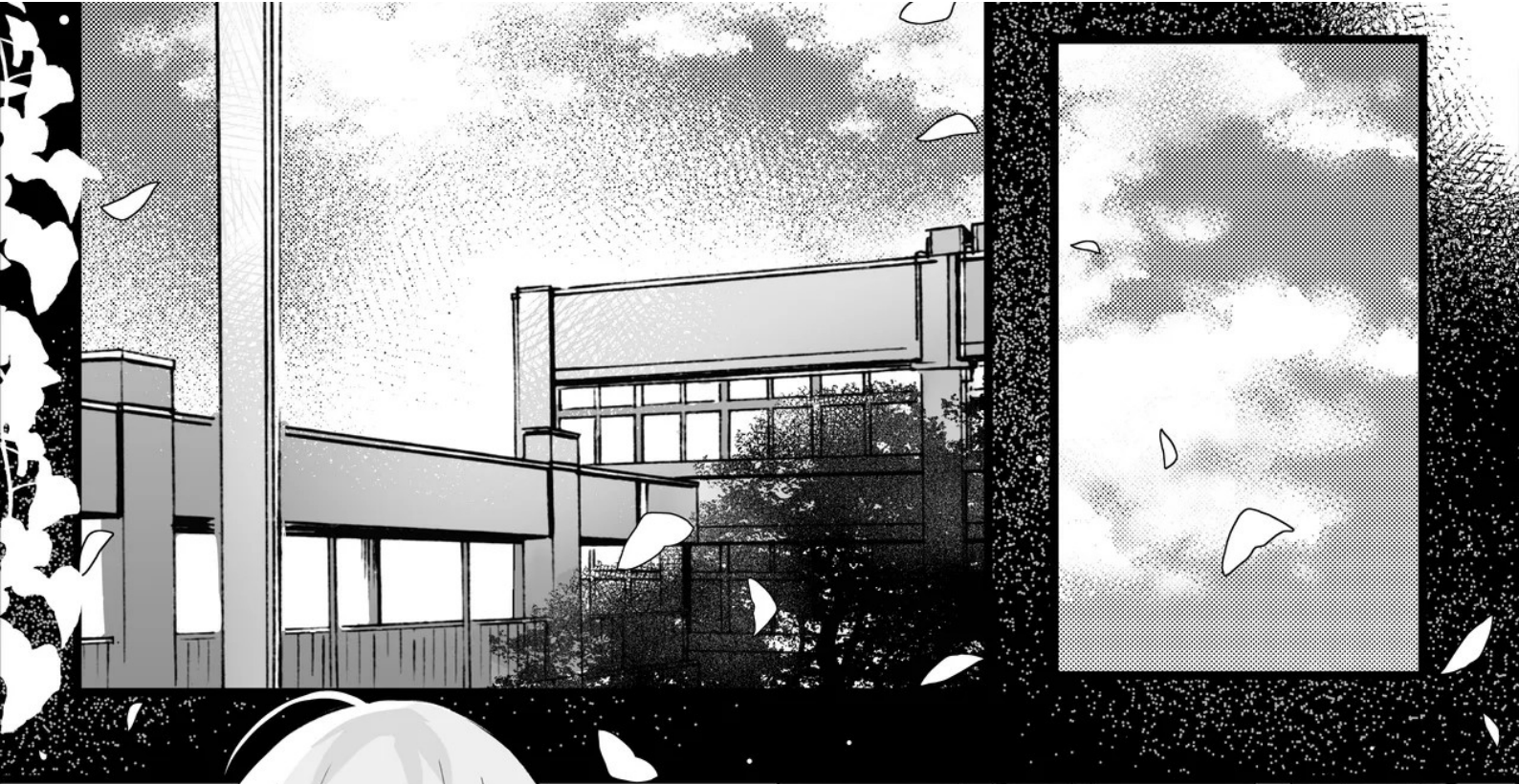
この夏、
モブはキミを奪う

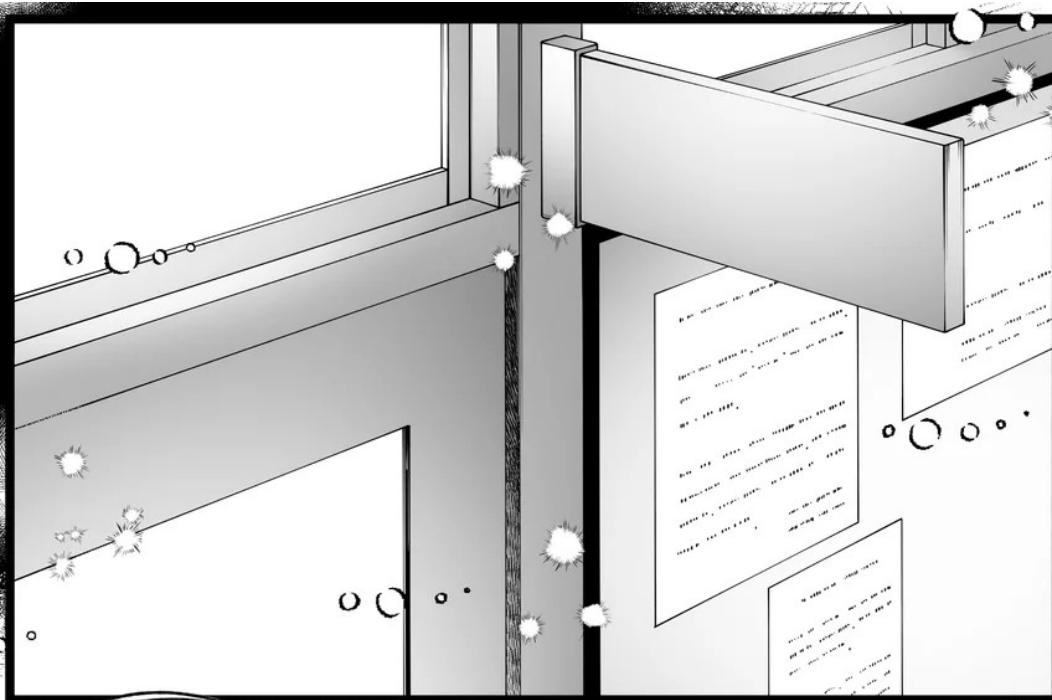


•ROCOMANI•

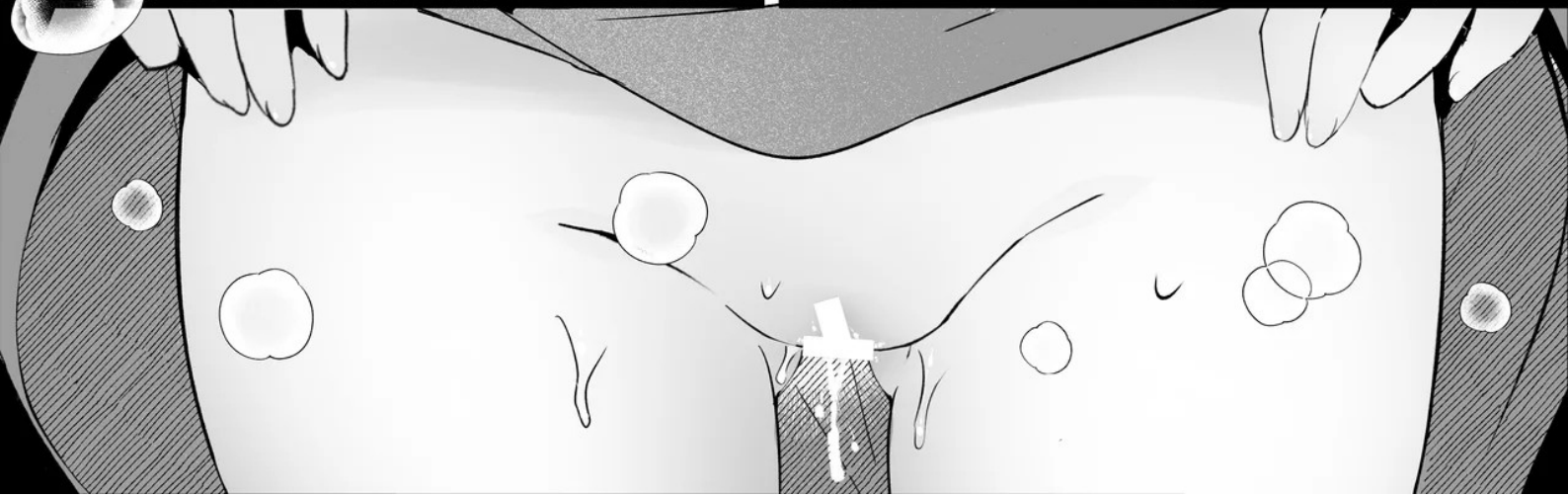
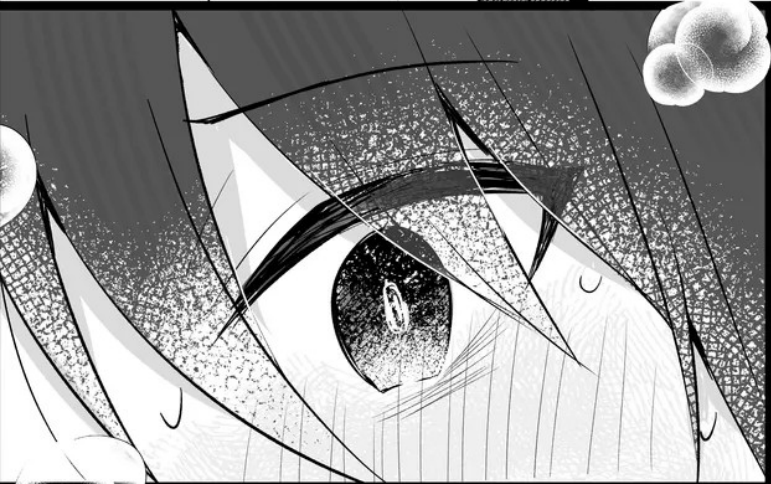


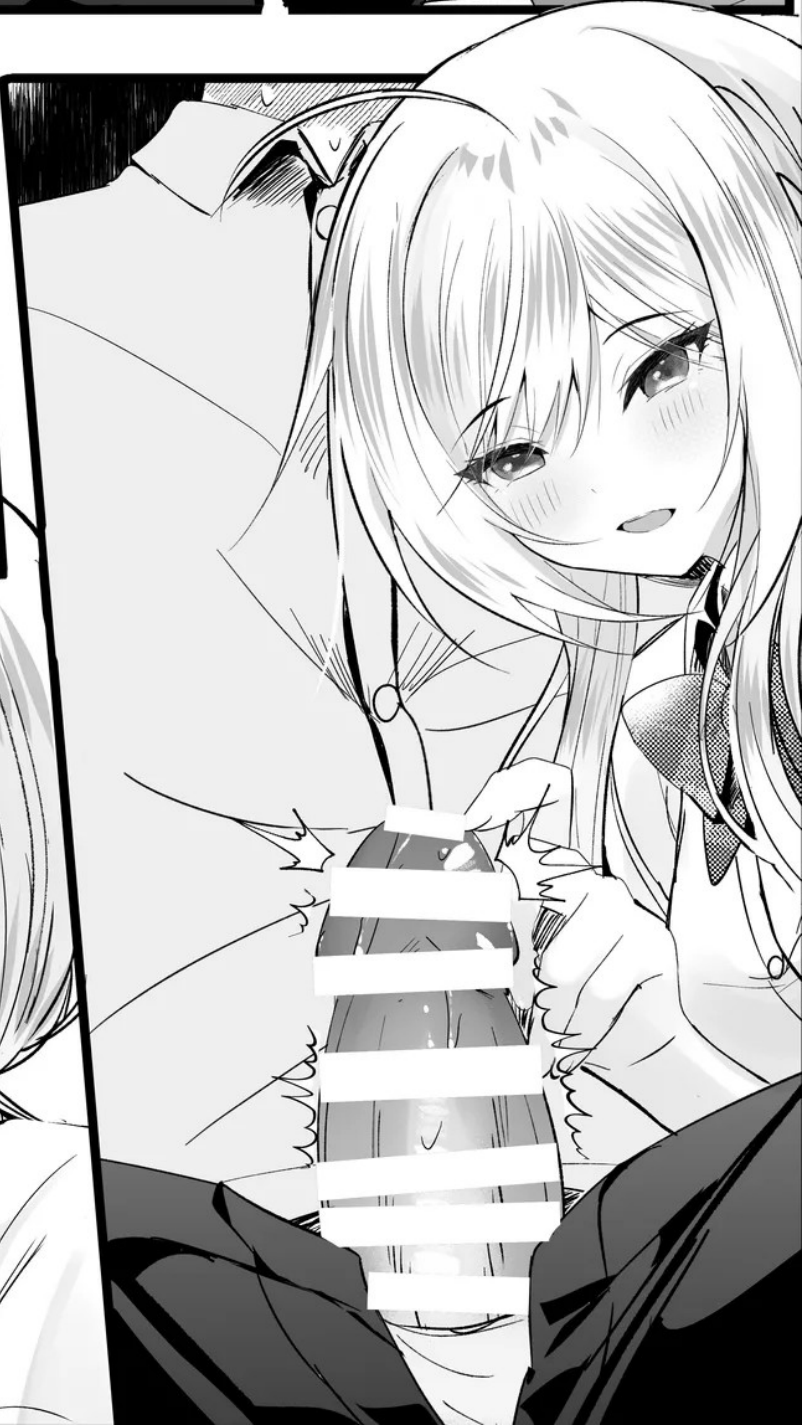
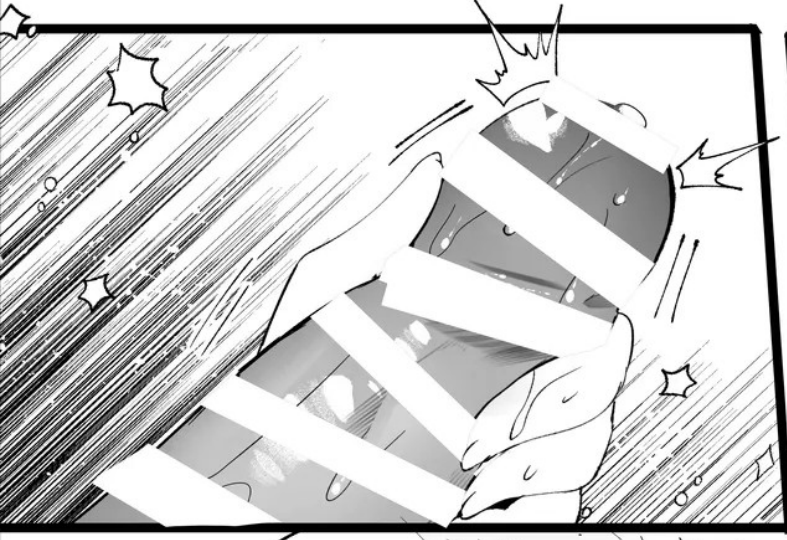






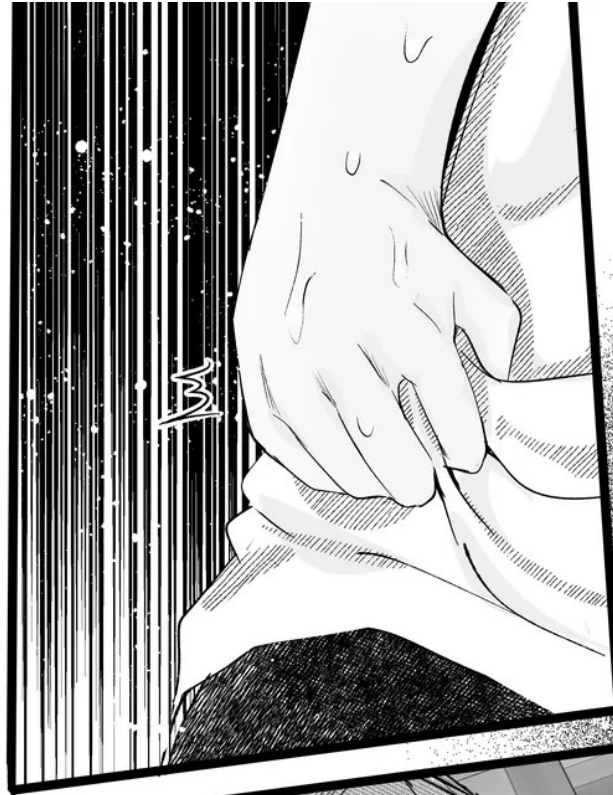




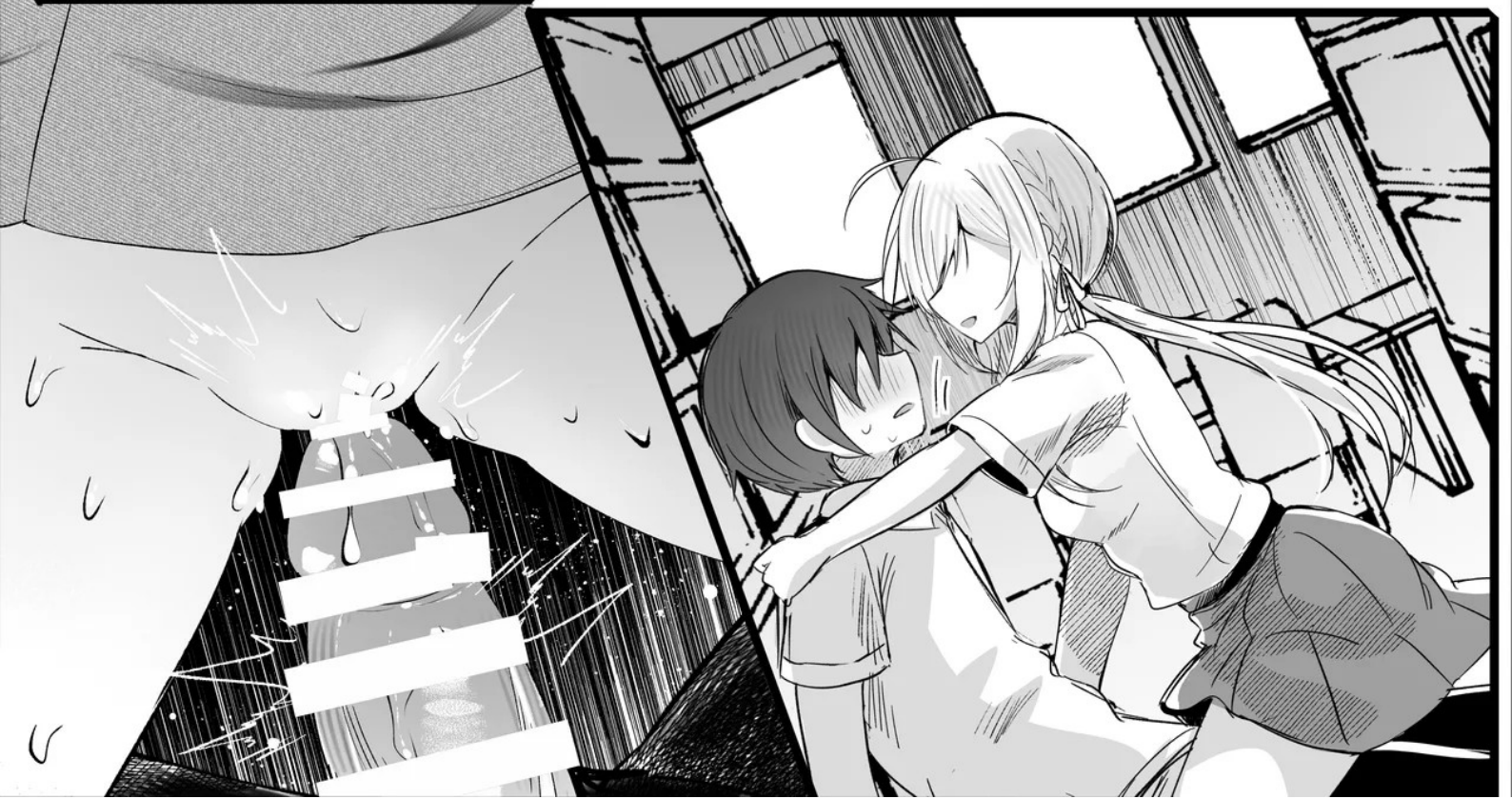
















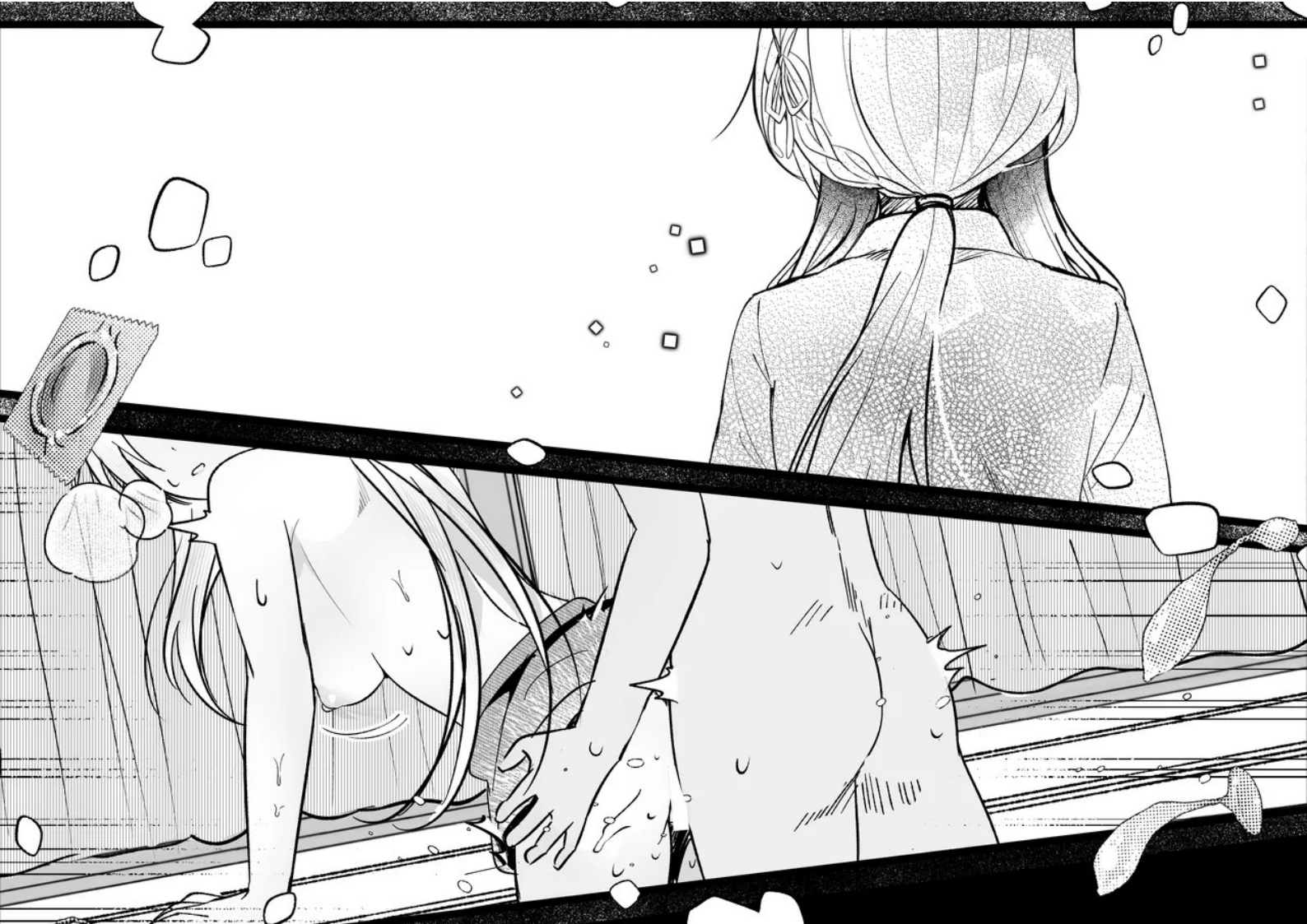


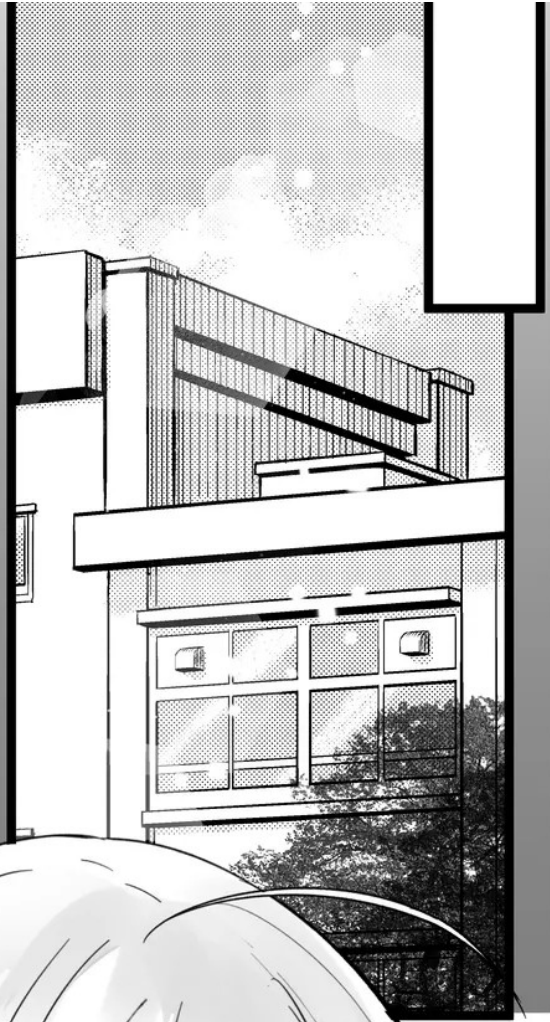
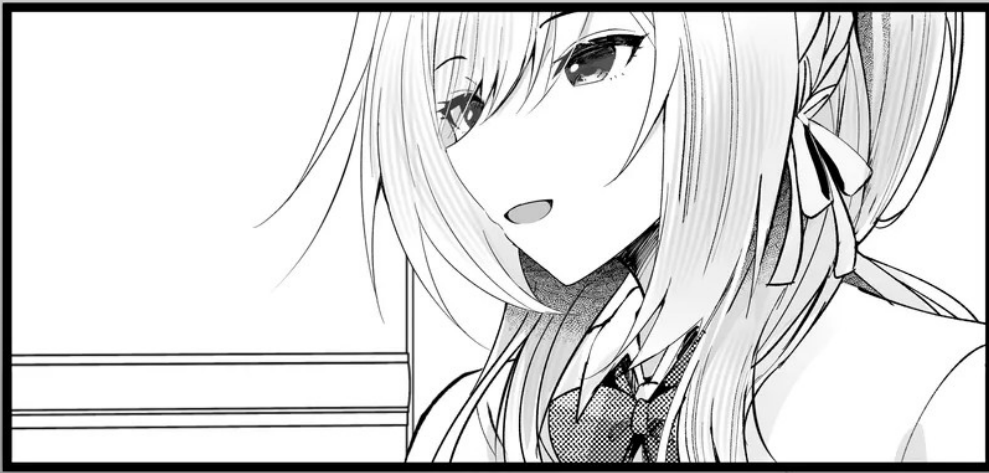


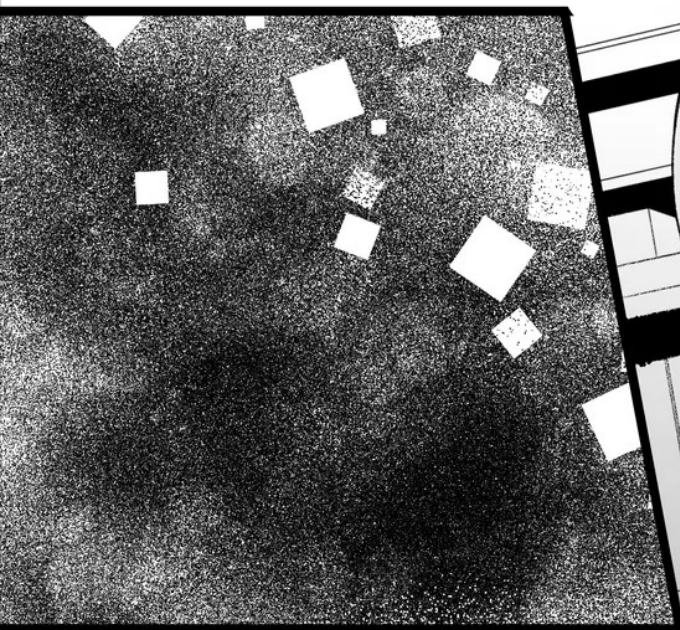
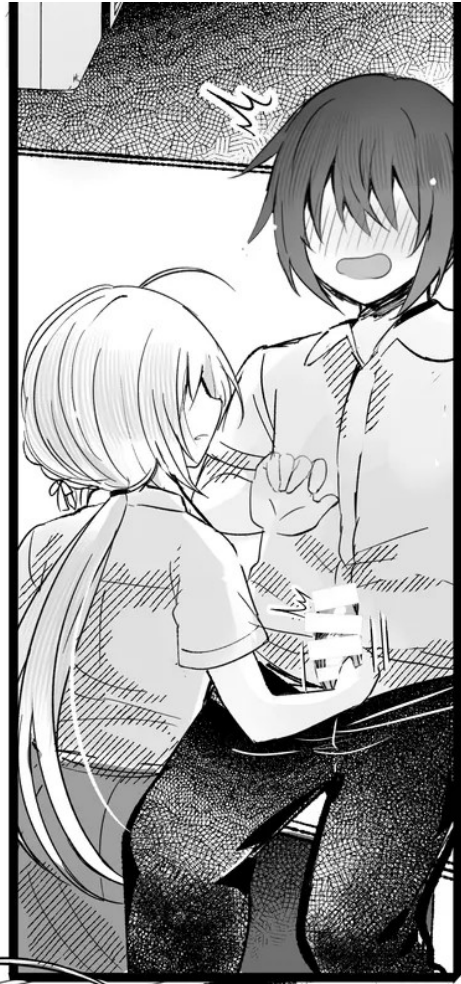












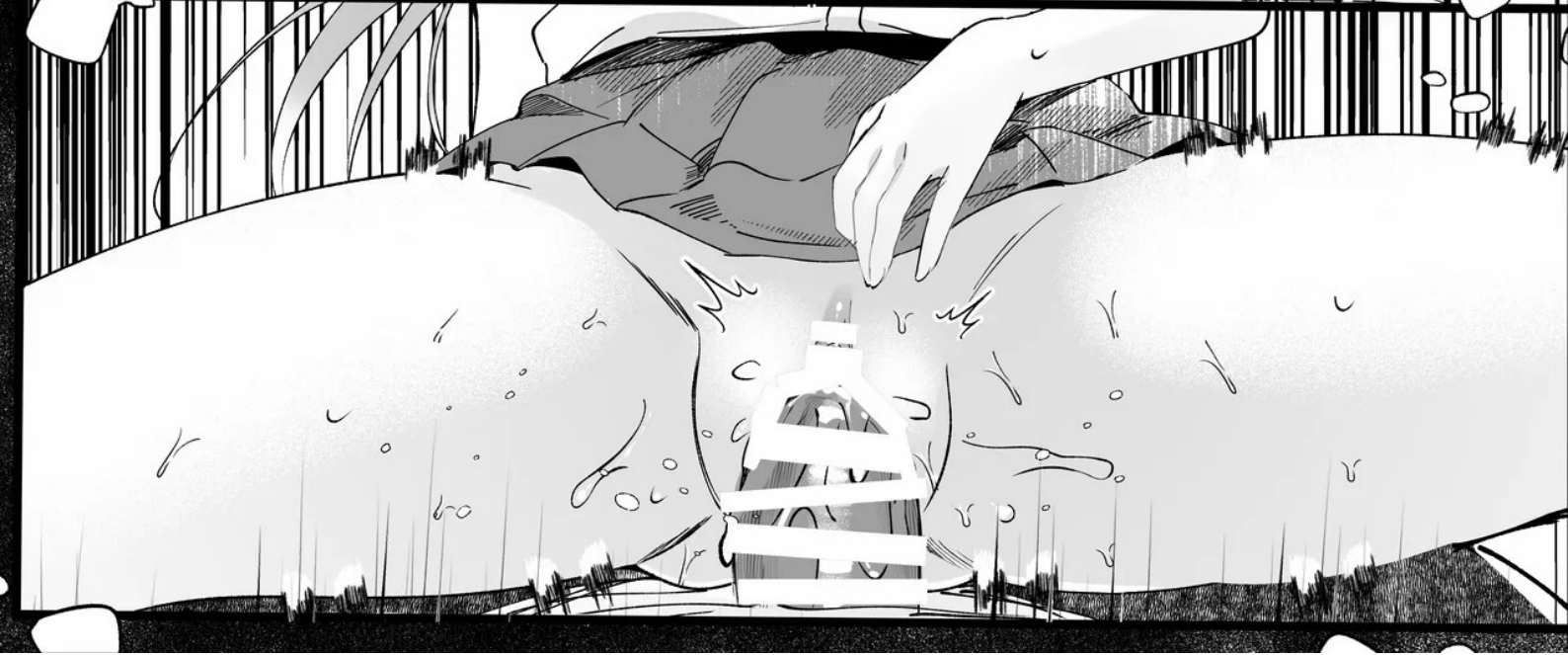








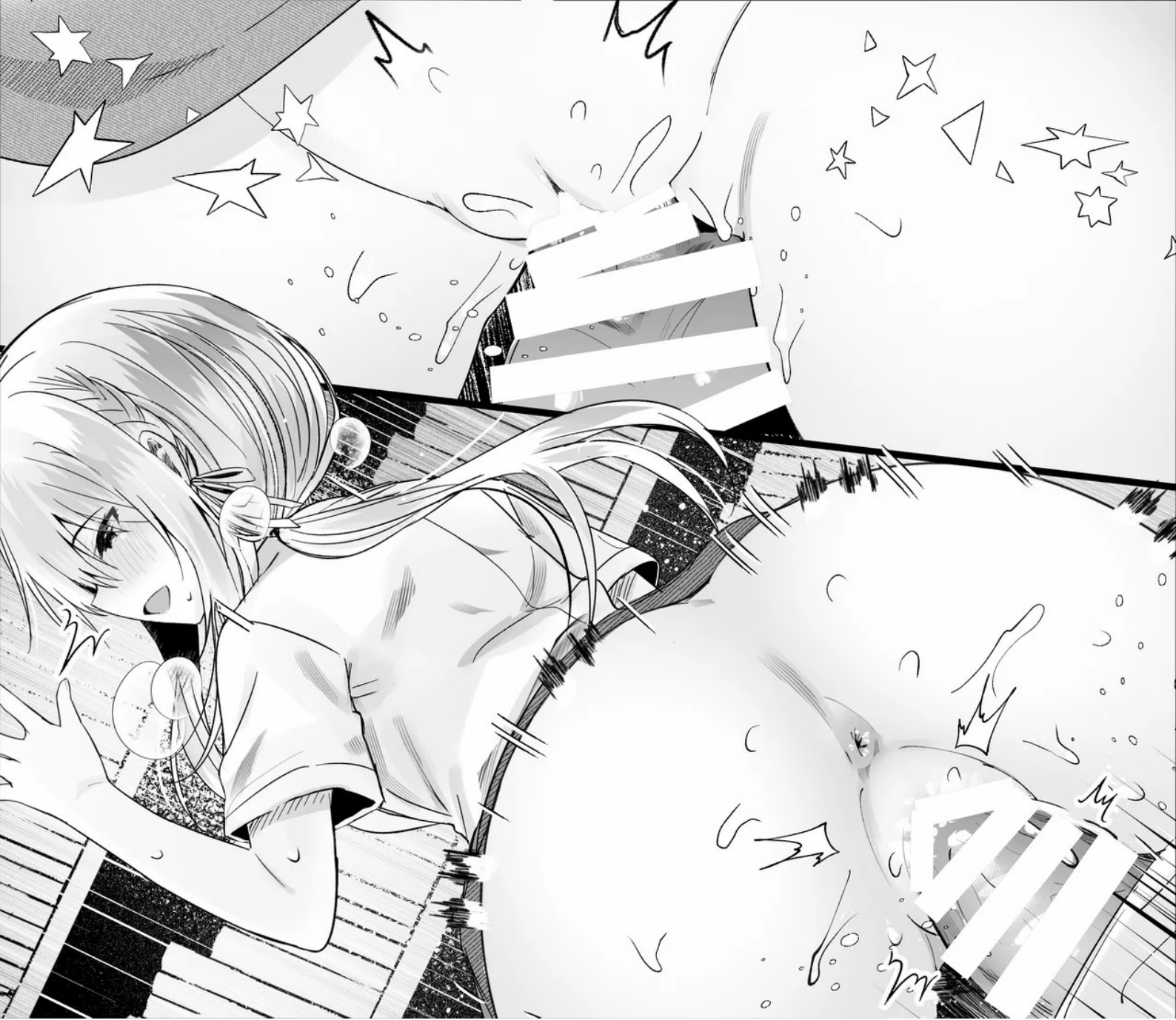




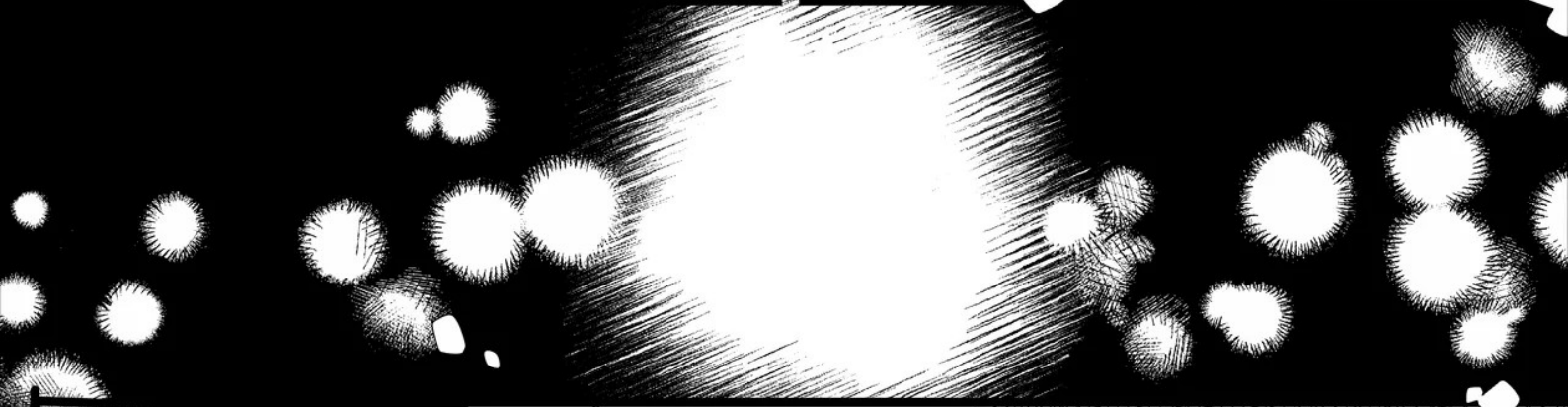
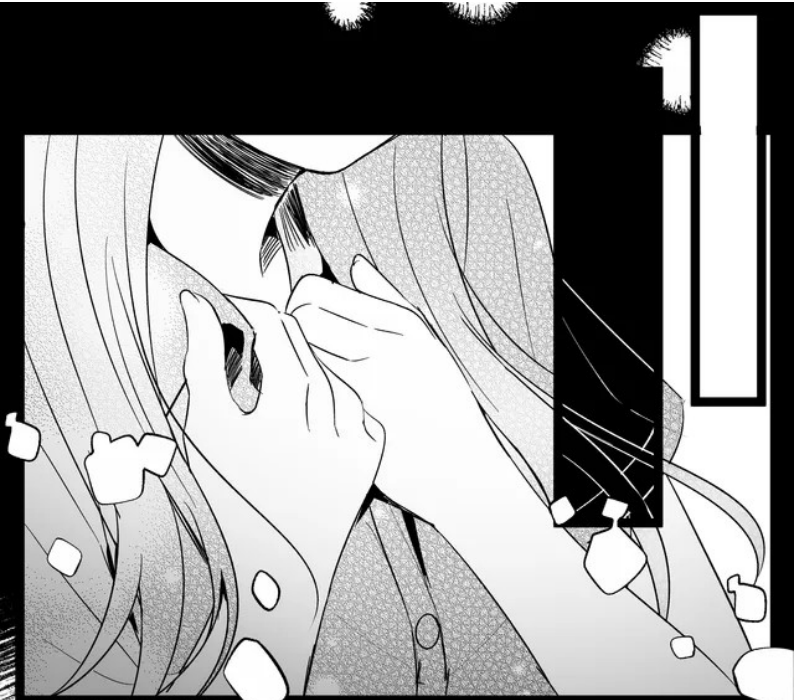
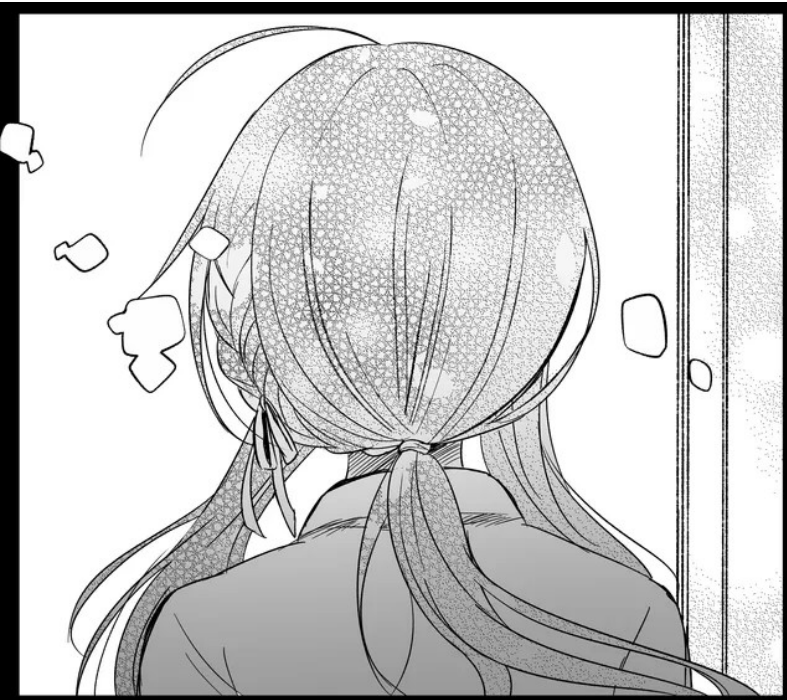


















この夏、
モブはキミを奪う



•ROCOMANI•